

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年1月8日

【評価実施概要】

事業所番号	0272500802		
法人名	社会福祉法人天寿園会		
事業所名	天寿園グループホーム		
所在地 (電話番号)	〒039-2742 青森県上北郡七戸町舟場向川久保308 (電話) 0176-68-4888		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年10月26日	評価確定日	平成22年1月8日

【情報提供票より】(平成 21年 9月 27日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 13年 1月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	10 人	常勤	10人, 非常勤 人, 常勤換算 10人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨耐火被覆平屋 造り		
	1 階建ての 階 ~ 1 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	21,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 900 円		

(4) 利用者の概要(9月 27日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名	
要介護1		名	要介護2	2	名	
要介護3	7	名	要介護4	7	名	
要介護5	2	名	要支援2		名	
年齢	平均	81.3 歳	最低	73 歳	最高	104 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人藤仁会 工藤医院
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>玄関・ホールには、大きな窓が設置され、光が心地よく差し込み明るい感じである。また足湯が設置され、そこには植物が飾られ癒しと交流の場所となっている。また、行事を通じて地域交流が図られ、地域からも親しまれている。職員は利用者へ声がけする事、聞くことを心がけ、利用者へ職員が共に色々な事を共有し生活している事が伺える。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>運営推進会議の開催が取り上げられてたが、実施に向け現在取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員全員で取り組み、振り返りを行い自己の見直しも同時に行っている。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議の開催はないが、行事・面会・地域交流の中で意見を頂き、ケア会議等で検討しサービス向上に向け取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>家族からの意見等に関しては直ぐに検討会議を実施し、その結果は家族に報告している。</p>
	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>事業所内の行事への地域住民の参加や、地域の行事への参加により、地域交流が図られ、また地域交流事業である「ほのぼの広場」の月2回の開催での交流により地域との連携が図られている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「みんなの為に」という法人の理念があり、みんなとは、利用者・家族・職員・地域であり、また、各ユニットで目標を毎年立て取り組んでいる。今年の目標は共通で「笑顔で楽しく」であり、笑顔を絶やさず、みんなの為にと理念の基、取り組んでいる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	週1回理念について話し合いを持ち、理念を共有、検討し、より良いサービス提供に向け取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	近隣には住宅が少ないが、事業所の周りが地域の方々の散歩道になっており、気軽に挨拶を交わし合える関係づくりをしている。また、法人主催の行事、地域行事には互いに行き来きがある。特に法人主催の「夏まつり」は地域住民の参加・協力により、地域との関係がより良いものになっている。地域交流事業である「ほのほの広場」が事業所内で月2回開催されており、それに参加し交流を図っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実施するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価は全職員で行い、評価を行う事で、振り返りができている。また、指摘事項等は、会議などで話し合い改善に向け取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>現在、実施出来ていないが、年内には開催の予定。</p>		<p>年内に開催予定となっているが、今後は定期的に関催できるよう期待したい。</p>
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>日常の他、行事や会合等を通じ市町村担当者と連携を密にし、サービス向上につなげている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>勉強会を開催し、必要時は、活用できるよう体制を整えている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>勉強会を開催し、言葉がけ等にも十分配慮するよう心がけ、職員間でも注意し合えるような環境作りをしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>自宅等に出向き、家族に細かいところまで充分説明を行い、疑問や不安がないか確認し、理解納得を得ている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>出来るだけ支払い時には来て頂き、面会の依頼をお願いし、その際、報告している。また、状態変化等があればその都度報告している。(状態が落ち着くまで報告は毎日行っている。)また、毎月広報も発行しており、利用者の様子をお知らせしている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>重要事項説明書に苦情相談窓口を明記している。また、面会時及び行事等で家族から意見等を伺うようにしており、意見や苦情等には検討会を開き直ぐに対応するようにしている。その結果も家族に報告している。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者の気持ちを考慮し、異動等がある場合は事前に顔なじみの関係が築けるよう配慮している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部・内部研修を定期的に行っている。また、段階に応じての研修も開催しており、学ぶ機会を多く設けている。職員からの申し出で研修会を行う事もある。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人を通じての研修会や行事等での他施設との交流の機会はあるが、グループホーム間での交流の機会は少ない。		今後グループホーム間での交流の機会を増やし、互いに意見交換等を行い、サービスの質向上に向け、取り組むことを期待したい。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用開始に向けて事前に本人及び関係ケアマネジャー・医師と連携をはかり支援している。また、家族と一緒に過ごして頂いたり、必要に応じてショートステイの利用も可能であり、徐々に馴染めるように工夫されている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員一人ひとりが常に声がけを大切に、話かける事や一緒に過ごす時間を作る事で、利用者との関係を築きその中で色々教わったり、学んだり、笑ったりと一緒に時間を過ごしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	普段の会話等で利用者からの希望・意向を小さな事でもくみ取るように努め、家族からも情報を得ている。また、申し送りノートを活用したり、カンファレンス等で検討され、職員間で共有されている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者が発する言葉に常に耳を傾け本人がどのように暮らしていきたいか、また家族からも意見を聞き、週1回の担当者会議で検討し、毎月の介護計画を作成している。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月介護計画を作成している。また、週一回のケア会議や状態変化に応じて計画の見直しを行っている。家族には面会時等に意見を聞き介護計画に反映している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	外泊・外出支援を行っている。またショート利用も可能であり、要望に応じて柔軟に支援できる体制になっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人及び家族の希望に沿った医療が受けられるように支援している。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>早い段階から本人・家族と話し合いを持ち、必要に応じて医師を交えて話し合いを行い、体調に変化が生じた場合その都度確認し、ケア会議等で職員が共有している。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>研修会を行っている。また、言葉がけにも職員間で注意し合っている。記録等の取り扱いに関しても個人情報守秘義務に従い取り扱っている。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりの時間・ペースに合わせて過ごせるように支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>職員も一緒に食事をとり、食事と会話(味付け・季節の話・日頃の話等)を楽しんでいる。また、可能な限り、利用者と一緒に盛り付け、後片付けを行っている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>希望に応じて入浴出来るよう支援している。また、足湯や併設のデイサービスの温泉等も利用できる。特に足湯は、職員との会話も見られ和やかであり、癒しの場所となっている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>出来るだけ自分で役割を見出せるよう工夫している。畑を作っており、収穫祭等も行われ楽しみごとになっている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>併設施設と連携をとり、事業所内の散歩・交流が図られている。また希望に応じて買い物や季節に応じてドライブに出かけたりしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>研修会を設け、学んでいる。また、言葉による言動の制限に対しても職員間で声がけし、取り組んでいる。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>玄関には夜間以外鍵をかけず、日中の外出は自由であり、利用者の所在確認も徹底している。(外出時は何気なく付き添う等)</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回併設施設との合同訓練が実施され、またマニュアルも作成されている。地域住民の協力体制も整っている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>利用者個々に食事・水分チェック表を作成し、把握に努めている。また、食事の際にも職員と一緒に食卓を囲む為、摂取量が少ない利用者には、さりげなく声がけし、摂取を促している。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>日常的に手洗い・うがいを実施している。また面会者等外部の方々の訪問者にも手指消毒を実施している。様々な感染症のマニュアルを作成しており、また研修会も開催している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>事業所全体に窓が多く光が多く取り込まれており、明るい感じであり、また季節に応じて花々や利用者の手作り作品等が装飾され居心地良く過ごせるよう配慮している。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みの家具等を持ってきて頂いたり、家族の写真や手作り作品を飾ったりと、利用者個々が心地よく過ごせるよう工夫されている。</p>		

 は、重点項目。